PMS-2517(19030)

施工説明書及び取扱説明書

# 分岐止水栓

LF-3SGQ-13F型
LF-3SGRQ-13F型

工事店様へのお願い

定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。
商品の機能が確実に発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この説明書はお客さまにお渡しください。

## 1. 必ずご確認ください

### 安全上のご注意

●施工前やご使用になられる前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工・使用してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
●いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客さまに引き渡すときはご使用上の注意にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●本説明書はお客さまで保管頂くように依頼してください。

### 用語および記号の説明

**注意** ……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ ……「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

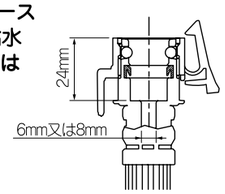
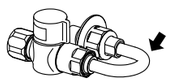
（禁止）……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

（分解禁止）……「分解してはいけません！」

（接触禁止）……「指示した場所には触れてはいけません！」

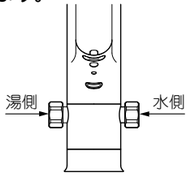
（指示）……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

### ⚠ 注意：正しく施工いただくために

| | |
|---|---|
| （禁止） | **衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。**<br>※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因になります。 |
| （分解禁止） | **修理技術者以外の人は水栓を分解したり、修理したりしないでください。**<br>※ケガをしたり、漏水や故障の恐れがあります。 |
| （指示） | **分岐止水栓や分岐フタを施工する際、また取外す際には必ずシンク下等の止水栓、または元栓を閉じてください。**<br>※漏水のため家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。 |
| （指示） | **分岐止水栓や分岐フタの施工後は、接続部からの漏水がないことを確認してください。確認後は、分岐ハンドルを「とじる」方向に止まるまで回してください。**<br>※漏水のため家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。 |
| （指示） | **分岐口ネジ部には緩み止め（赤色）が塗布されています。除去せずに、そのまま分岐止水栓を取付けてください。** |
| （指示） | **給水ホースについて**<br>**・分岐止水栓の分岐止水栓継手は、日本電機工業会規格（JEM1206）のカプラー接続に準じています。**<br>**・分岐器具の給水ホースは、日本電機工業会規格（JEM1206）品を使用してください。**<br>**（目安となる寸法は、給水ホース継手内部の深さは24mm、給水ホース継手奥の内径6mm又は8mmです。）**<br>※上記以外の給水ホースでは、異音や漏水、吐水できないなどの恐れがあります。<br>  |
| （禁止） | **LF-3SGRQ-13F型を施工する場合、U字管部分を無理に拡げたりしないでください。**<br>※めっきが割れて、ケガをする恐れがあります。<br>  |

### ⚠ 注意：正しく施工いただくために

（指示）
**JF-AJ461型、JF-AK461型の場合、水栓の右側は水分岐、左側は湯分岐になっています。使用する方の分岐口を間違えて接続しないでください。**
※分岐先機器の故障や、ヤケド、漏水による財産損害発生の恐れがあります。




### ⚠ 注意：正しくお使いいただくために

| | |
|---|---|
| （指示） | **分岐ハンドルを開く場合は、必ず給水ホースを接続した状態で行ってください。**<br>※漏水のため家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。 |
| （指示） | **給水ホースをはずす場合は、必ず分岐ハンドルを「とじる」方向に止まるまで回してください。**<br>※漏水のため家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。 |
| （指示） | **分岐器具をご使用にならない場合は、必ず分岐ハンドルを「とじる」方向に止まるまで回してください。**<br>※漏水のため家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。 |
| （禁止） | **分岐器具を同時使用しないでください。**<br>※流量が変動し流量不足になったり、ヤケドをする恐れがあります。 |
| （接触禁止） | **高温の湯をお使いのときには、高温になっています。直接、肌を触れないようにしてください。**<br>※ヤケドをする恐れがあります。<br> |
| （指示） | **分岐栓を湯側に接続してご使用の場合は、給湯器の温度を必ず分岐先機器の使用説明書に記載されている範囲に設定してください。**<br> |
| （禁止） | **分岐止水栓に重いものを吊り下げたり、力をかけて回したりしないでください。**<br>※漏水のため家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。 |

### ⚠ 注意：凍結防止のために

| | |
|---|---|
| （指示） | **凍結が予想される際は、室内を保温して氷点下にならないようにしてください。（一般地仕様の場合）**<br>**寒冷地仕様の場合は、配管の水抜き操作と水栓の水抜き操作を行ってください。**<br>※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。 |
| （禁止） | **【寒冷地用の場合】**<br>**凍結時に解氷機をご使用の際、水栓本体部には絶対に通電しないでください。**<br>※発熱により内部の樹脂部品が破損し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。 |

### 本製品の仕様と使用条件

| | | | |
|---|---|---|---|
| 使用可能水質 | 上水（※1） | 使用最高温度 | 85℃（※2） |
| 使用環境温度 | 【一般地用】：　0～40℃<br>【寒冷地用】：-20～40℃ | | 但し、内部の水を凍結させないでください。 |
| 給水接続 | G1/2　呼び径13 | | |
| 圧力条件 | 0.05MPa（流動圧）～0.75MPa（静水圧） | | |

※1：水道水、又は飲用可能な井戸水
※2：分岐先機器の使用説明書に記載されている範囲の温度でご使用ください。

### 施工前のご注意

#### 取付けに必要な工具

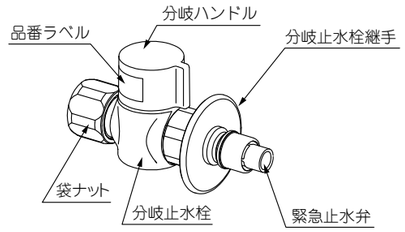
●取付けには、スパナ（対辺24）が必要です。
●水出し確認には、給水ホースが必要です。
※給水ホースの仕様は、左記「給水ホースについて」の注意をご参照ください。

#### その他の注意点

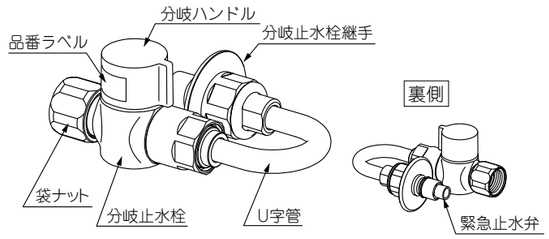
●給水は上水道に接続してください。
※温泉水などの異物を多く含む水には使用できません。
●商品の表面には、直接工具を掛けないでください。
※工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
●開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分に注意してください。

### 各部の名称

〈LF-3SGQ-13F型〉



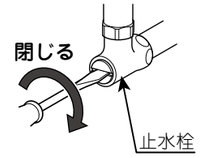

〈LF-3SGRQ-13F型〉




## 2. 施工方法

以下の手順通り、正しく施工してください。

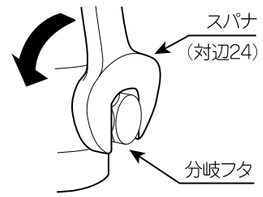
**1.** シンク下等の止水栓、または元栓を閉じる。




**2.** 分岐止水栓を接続する側の分岐フタをはずす。

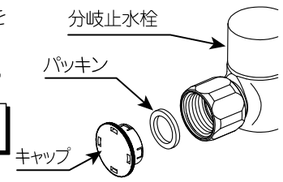
**注意**
**中に入っているパッキンは再使用しないでください。**
※漏水する恐れがあります。

**注意**
**分岐口ネジ部には緩み止め（赤色）が塗布されています。除去せずに、そのまま分岐止水栓を取付けてください。**



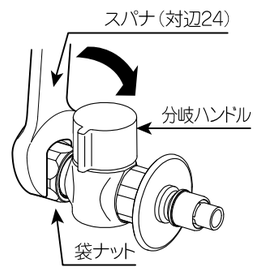

**3.** 分岐止水栓のキャップをはずす。
※キャップは、はずしたら捨ててください。

**注意**
**パッキンの紛失注意**




**4.** 袋ナットを10N・mで締付けて固定する。
※10N・mの目安として分岐止水栓が上下にぐらつかなくなってから90度程度締付けてください。
※分岐ハンドルが上向きになるよう施工してください。

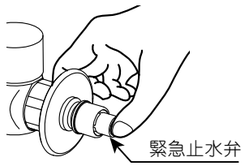
**注意**
**必ず分岐止水栓に付属の新品のパッキンを使用してください。**
※漏水する恐れがあります。



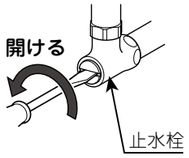
## 3. 施工後の水出し確認

·水出し確認は、分岐ハンドルが「とじる」方向に止まるまで回っていることを確認してから行ってください。
·水栓の機能を十分発揮させるため、水圧が0.2MPaを超える場合は、シンク下等の止水栓を絞って調節してください。

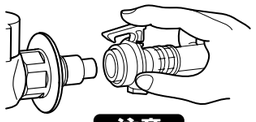
**1.** 分岐止水栓継手には、カプラーが外れても水を止める機能（緊急止水弁）がついています。指で軽く押し、離した時に元の位置に戻ることを確認してください。




**2.** シンク下等の止水栓、または元栓を開ける。




**3.** 分岐止水栓継手に給水ホース継手を接続し、分岐ハンドルを「ひらく」方向に止まるまで回し、漏水していないことを確認してください。
※確認後は分岐ハンドルを「とじる」方向に止まるまで回してください。
※湯分岐側に接続している場合は、やけどにご注意ください。

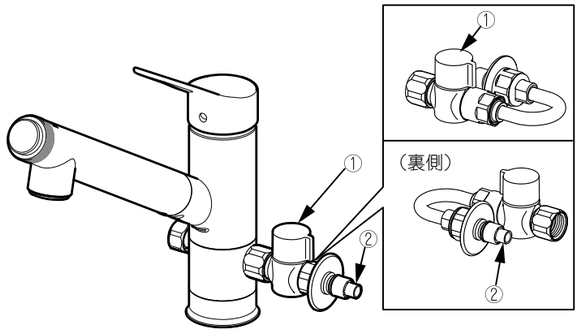


**注意**
**分岐器具の給水ホースは、必ず日本電機工業会規格（JEM1206）品を使用する。**
※上記以外の給水ホースでは、異音や漏水、吐水できないなどの恐れがあります。

### ●冬季凍結の恐れがある場合[寒冷地仕様の場合]

1.配管の水抜き栓を操作する。
2.分岐止水栓から分岐器具の給水ホースをはずす。
3.分岐止水栓の分岐ハンドル①を「ひらく」方向に止まるまで回す。
4.分岐止水栓継手の緊急止水弁②を押込む。
※この時少量の水が出ますので注意してください。
※湯分岐側に接続している場合は、やけどにご注意ください。
5.水栓本体の取扱説明書に記されている水抜方法を実施する。
6.分岐止水栓の分岐ハンドル①を「とじる」方向に止まるまで回す。
※分岐止水栓の分岐ハンドル① を開けたまま放置すると、閉止できなくなることがあります。
無理な操作をせず通水または自然解凍してください。

〈LF-3SGQ-13F-U型の場合〉　〈LF-3SGRQ-13F-U型の場合〉



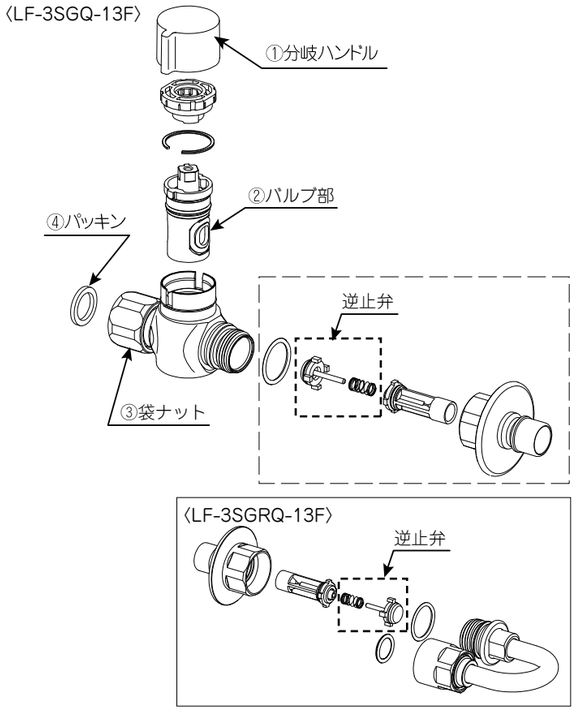

※図はJF-AJ461SYXB型の例です。

## 4. 引渡前の確認

お客さまに引き渡す前に以下のような現象がないか確認してください。

| 現象 | 点検内容 | 点検箇所 | 処置 |
|---|---|---|---|
| 吐水しない | 止水栓は開いているか？ | — | 止水栓を開く |
| | 日本電機工業会規格(JEM1206)適合の給水ホース継手を使用しているか？ | — | 安全上のご注意の「給水ホースについて」の項参照 |
| 流量が少ない | 圧力は十分か？ | — | 「使用条件」の圧力条件の項参照 |
| | 止水栓は十分開いているか？ | — | 止水栓を十分開く |
| | 配管途中に大きな抵抗はないか？ | — | 抵抗となる障害物を取り除く |
| | 分岐ハンドルは十分開いているか？ | ① | 分岐ハンドルを「ひらく」方向に止まるまで回す |
| | 水栓と分岐器具から同時に吐水していないか？ | — | 水栓か分岐器具のどちらかを閉じる |
| 水が止まらない | ゴミかみはないか？ | ② | ゴミ等を水で洗い流す |
| 漏水する | 袋ナットの緩みはないか？ | ③ | 袋ナットをしっかり締付ける |
| | ゴミかみはないか？ | ② ④ | ゴミ等を水で洗い流す |

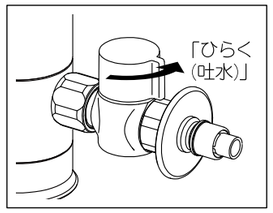
〈LF-3SGQ-13F〉

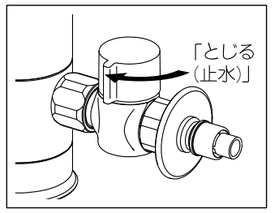



※品番末尾に「-U」がつくものは、逆止弁が入っていません。

## 5. ご使用方法

●分岐ハンドルを「ひらく」方向（反時計回り）に回すと吐水し、「とじる」方向（時計回り）に回すと止水します。



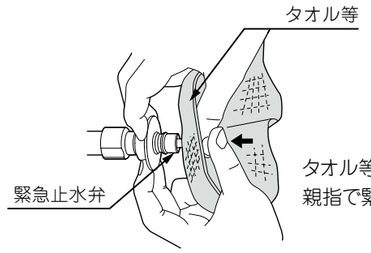




### ご使用上の注意

●使用後は必ず分岐ハンドルを閉めてください。

### 使用中に給水ホース継手が外れたとき

●万が一使用中に給水ホース継手が抜けた場合、漏水を防止します。
分岐ハンドルを閉じてから、下図のように緊急止水弁を押し、圧力を抜いてから使用してください。
※この時少量の水が出ますので注意してください。
※湯分岐側に接続している場合は、やけどにご注意ください。




タオル等を使用して、両手親指で緊急止水弁を押す。

## 日常のお手入れ

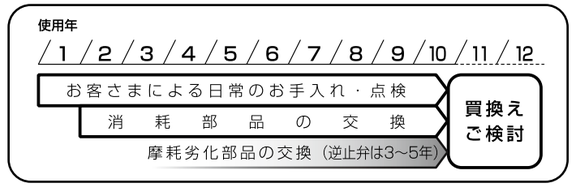
いつまでもご愛用いただくために、普段のお手入れは次のことに注意してしてください。
●汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
それでも落ちないときは、水拭きしてください。
●分岐止水栓の表面を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。
・クレンザー、歯磨き粉等の粒の粗い洗剤
・酸性洗剤、塩素系漂白剤
・ナイロンたわし、ブラシ等
・シンナー、ベンジン等の溶剤
※ひび割れや変色の原因となります。
まちがえて使用した場合は、すぐに水洗いをしてください。

## 定期的なお手入れ

### 定期的な部品交換のお願い

●部品が摩耗・劣化すると水漏れ等の原因になりますので交換が必要です。
●摩耗劣化する部品の例：分岐ハンドル、バルブ部、パッキン、逆止弁（「4.引渡前の確認」の図参照）
●部品の交換については、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターにご依頼ください。

**〈定期的な点検・部品交換のめやす〉**




## 修理を依頼される前に

修理を依頼される前に「4. 引渡し前の確認」をご確認いただき、それでも問題が解決されない場合は、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターまでお問い合わせください。

≪修理のご依頼≫
お求めの取扱店または
LIXIL修理受付センター（ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/support/）
TEL 0120-179-411　受付時間9:00～20:00 365日受付
FAX 0120-179-456
LIXIL修理受付センター にご依頼の場合、修理料金は“技術料”+“出張料”+“部品代”で構成されています。

≪使い方·お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせ≫
お客さま相談センターまで
TEL 0120-179-400　受付時間　平日　9:00～18:00
FAX 0120-179-430　土日·祝日　9:00～17:00（ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く）


**株式会社 LIXIL**

●商品·施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センターまで
ナビダイヤル　**TEL 0570-017-173**

受付時間　平日　9:00～18:00
土日·祝日　9:00～17:00
（ゴールデンウィーク·夏期·年末年始の休みは除く）


PMS-2517(19030)